



真剣にメモしたり聴き入る姿が目立つ集いでした

没後50年記念で多彩に いのちの灯の集い

NPO法人輝けいのち
ネットワークが主催し、
本会も協賛する「いのち
の灯の集い」は、11月15
日太田老人福祉センター
で関係者や町民40人が
参加して開かれました。
深澤村長没後50年を
記念して多彩な内容で企
画され、生命尊重の深澤
理念が広く深く浸透して
いることを検証する機会

ともなりました。

沢内中学校3年佐々木
瑠海さんの「わたしの主張
県大会最優秀賞」に輝いた
「支えられている命だか
ら」の朗読発表は参加者に
深い感動を与え、「いのち
の灯の集い」では児童生徒
の初登壇となりました。

基調講演では、岡山県
の就実短大教授の笹倉千
佳弘先生、兵庫県の関西福
祉大学准教授の井上寿美
先生の「社会的養護の子ど
もを丸ごと受け入れる西
和賀町の魅力」は、人を大
切にする生命尊重の心が
基盤にあると語りました。
「増田進 患者さんと生
きる」の記録映画が完成
し、都鳥伸也監督から「地
域医療の先駆者である増
田先生の医療観・実践を映
像化した」ことが紹介され
ました。西和賀町では来春
の上映会を予定しており、
上映運動に協力してほし
いとの呼びかけがありま
した。

太田宣承さんの 篤志寄付に感謝

碧祥寺住職の太田宣承さんから深澤晟雄
の会に篤志寄付をいただきました。

祖父である太田祖電氏は深澤村長と生命
尊重行政を推進、深澤村長没後もその理念
を継承して活躍、晩年は深澤晟雄の会初代
理事長として後進の指導に尽くされました。

宣承さんには、生命尊重の理念に生きた
祖父の想いがこもる「深澤晟雄の会」の発
展を願う寄付であり、心から感謝とともに、
期待に応えられる運営に努めることをお誓
いして、皆さんにもお知らせします。

資料館 12月から冬期休館

深澤晟雄資料館は12月 休館日は映像資料を他
から来年3月まで冬期休 館者に入館者に気兼ねなく鑑
賞できる」と好評ですが、冬
より開館しますので、深澤 期は資料館入口の除雪も
必要です。必要です。早めの予約
（電話等）へご連絡ください。をお願いします。

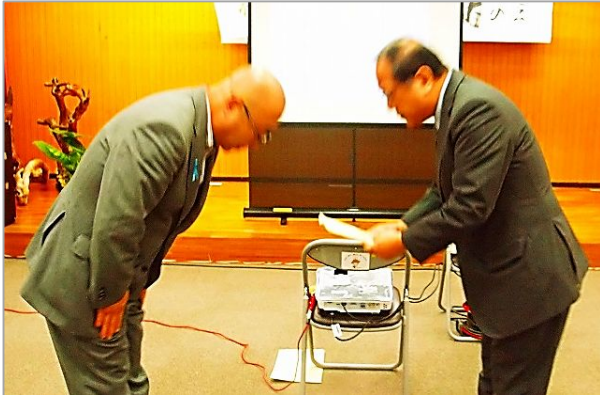
金一封に感謝

横浜市瀬谷区

高橋 勝也様

屋久島と生命尊重の心を交流

～義援金は子どもたちへ～



佐々木理事長より義援金を受ける岩川副町長(右)

鹿児島県屋久島町に「屋久島 深澤晟雄の会」(以下「屋久島の会」)が結成されたのを機に、火山噴火で被災した屋久島町民へ義援金を届けながら交流会を計画。8人の会員で11月20日から2泊3日で屋久島町を訪問しました。訪問団は町民の熱い歓迎を受け、今後とも生命尊重理念の普及と相互交流を深めようと誓い合いました。

歓迎会の席上で

副町長に義援金

鹿児島県屋久島町の口永良部島(くちのえらぶしま)の火山が今年5月に大爆発、火砕流に襲われた全島民は

屋久島に逃れました。不慣れた避難生活を余儀なくされた町民は、12月に帰島できるとはいえ、不安な年末年始を迎えます。そこで、屋久島の会との交流訪問に、西和賀町民の心を届けようと3週間足らずの期間で募金を呼びかけました。

役場庁舎などに置いた募金箱と本会への直接募金を合わせて18万3520円となり、本会役員有志の端数調整で20万円としました。

義援金は屋久島町民50人ほどが出席した歓迎会の席上で、本会の佐々木孝道理事長から屋久島町の岩川浩一副町長に贈られました。

佐々木理事長からは「口永良部島には小中学校が1校ずつなので、島の子どものたちのために小中10万円ずつで役立ててほしい」との言葉が添えられました。

沢内の盆踊りで

最高潮の交流会

歓迎交流会は20日午後6



↑ 屋久島町民50人を前に米澤事務局長のミニ講演も



↑ 高橋勤さんの太鼓に誘われて屋久島町民も踊りの輪に

時から宮之浦公民館で行われました。交流会では、乳児死亡率ゼロ達成をテーマにしたNHKテレビ「その歴史が動いた」のDVDを鑑賞後、深澤晟雄資料館米澤一男事務局長のミニ講演が行われました。

高橋勤さんの太鼓と佐々木理事長の歌で沢内の盆踊りには、屋久島町民も加わって大きな輪を作り、交流会は最高潮に達しました。また、旧沢内病院に勤務経験のある久保利夫医師夫妻も駆けつけて、西和賀町との友好ムードを高めました。訪問団一行は翌21日、屋久島の会の案内で世界自然遺産に包まれた島の大自然を満喫して22日帰途につきました。